

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	11100000	農業委員会 農業委員会	
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	05	農林業費	01	農業費	01	農業委員会費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-			目標値	-	
中事業	28	主要な取り組み	—							
小事業	01	農業委員会交付金事業			目標年度	令和6年度				



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	農業委員会等に関する法律（法律第八十八号）により農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図るために農業委員会を設置している。農地所有者の高齢化等により遊休農地が増加傾向にあり、農地が適正に管理されていない現状がある。農業委員会において農地の利用を最適化するよう推進することが求められている。				
	事業目的	（１）対象（誰、何を対象にしていますか） 農業委員会委員、農地利用最適化推進委員、農地所有者、農業従事者、新規就農者 （２）目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるか） 法令に基づき農業委員会の権限に属された所掌事務を実施することで、農業の健全な発展に寄与する。				
	事業概要	農業委員会構成 農業委員会委員14名及び農地利用最適化推進委員13名 ・毎月1回、農業委員会の総会を開催し、農地法をはじめとする法令に基づく審査や決定等を行うとともに、農地に関する証明の発行や農地の適正管理の指導等を実施 ・農地の利用状況調査の実施 ・広報紙「農業委員会だより」の発行（年1回発行）				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	7,142	7,108	7,029	6,975	
	決算額	7,061	6,969	7,029		
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	2,418 / 0				



アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員の農業者への働きかけを行う（単位：人）	目標値	10	10	10	10
	実績値	10	10	10		



アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	毎年、0.5haの遊休農地の解消を図る（単位：ha）	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5
	実績値	1.6	1.9	2.5		

実
績

効
果



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	農業委員会委員・農地利用最適化推進委員において知識・情報理解が向上していることから年間一人当たり10回の働きかけを行うことが出来ていると考えられる。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	大規模な担い手へ遊休農地の紹介、草刈り等の農地管理指導が出来たことによって、目標値を大幅に超える遊休農地解消を行うことができた。
	実績からR05年度の事業の方向性	R5年度からは遊休農地化してしまっている農地への適正管理指導だけでなく、遊休農地化することが想定される農地についても担い手への農地の貸し付けの意向確認や早期の農地管理指導を行っていく。

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	11100000	農業委員会 農業委員会		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	05	農林業費	01	農業費	01	農業委員会費	
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-				目標値	-	
中事業	28	主要な取り組み	—								
小事業	04	機構集積支援事業			目標年度	令和6年度					



イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	農業人口の減少・高齢化により農業の担い手・後継者が不足し、耕作放棄地の増加している。耕作放棄地が増加することで、農地が荒廃化するため、雑草・雑木の繁茂や病害虫の発生など、周辺で耕作をされている担い手農家の方に迷惑になるだけでなく、地域の担い手農家の方が農地の集積を進める際の妨げとなる。					
事業目的	(1) 対象(誰、何を対象にしていますか) 農業委員会委員、農地利用最適化推進委員、農業経営者、新規営農者 (2) 目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるか) ・ 農業に関する知識や情報を収集し、農業委員会活動に生かす。 ・ 遊休農地を農業従事者等へマッチングさせることで、遊休農地の削減を図る。					
事業概要	・ 農業に関する先進事例の情報収集及び実践に関する研究 ・ 農政に関する研修会等への参加 ・ 農地利用状況調査により把握した遊休農地の農業経営者等への集約・集積					
事業費 (千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	3,986	698	668	580	
	決算額	27	28	513		
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		605 / 0				

実
績

実 績	農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員が関与してマッチングを行った農地の集積・集約面積(農地中間管理事業等)1.0ha 営農型太陽光発電施設の現地視察研修を実施
効 果	遊休農地のマッチングが進み農地の集約・集積化と遊休農地の解消が進んだ。 また、研修会を行ったことで農業委員会委員・農地利用最適化推進委員の知識が向上し情報を収集できた。



評
価
分
析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員に農地のパトロールを依頼しており、遊休農地に対し適正利用するよう農業者へ働きかけを行ったため目標値を達成することができた。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	遊休農地を所有している農業者へ多くの働きかけができたことにより、遊休農地を解消し目標値を大きく達成することができた。 事業を始めてまだ数年しか経っていないため、担い手が欲しいような良条件の農地があることも原因であると考えられる。
実績からR05年度の 事業の方向性	R5年度も引き続き遊休農地を所有している農業者へ働きかけを行い適正管理を呼びかけることにより遊休農地解消を進める。 また、コロナ禍の影響を受けR4年度に開催できなかった講演会についても開催する方向性である。



アウト プ ット	活 動 指 標 (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員が農地の集積・集約のために働きかけをした農業者の人数(1人当たりの人数)	目標値	10	10	10	10	10
		実績値	16	10	12		



アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員が関与してマッチングを行った農地の集積・集約の面積(ha)	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		実績値	1.2	1.9	1.3		